

# 室蘭工業大学-学報

NO.674



第53回 蘭岳コンサートの様子  
(10ページに関連記事あり)

2025年12月号

## 目 次

## ◇ トピックス ◇

教育研究・財務レポート2025（Performance & Financial Reports 2025）を公開	1
室蘭工業大学が参画する「次世代型宇宙港」ワーキンググループが報告会を開催	2
パブリックリレーションズオフィスニュースレター第5号を発行	5
室蘭工業大学・札幌医科大学による「デジタル医工連携セミナー」を開催	6
室蘭工業大学広報誌「蘭岳（RANGAKU）」- No.152 - を発行	8
第53回蘭岳コンサートを開催	10
佐藤理事・副学長が道民向けセミナー「次世代半導体とほっかいどうの未来 in 室蘭」に登壇	11
李鶴准教授が国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の「官民による若手研究者発掘支援事業（若サポ）」に採択	12
令和7年度合同業界研究会を開催	13
QSアジア大学ランキング2026で741-750位にランクイン	14
董晃雄副学長（しくみ解明系領域・教授）がHighly Cited Researchers 2025に選出	15
永年勤続者表彰式を挙行	16
第19回 EMIR勉強会で本学職員が話題提供	17
室蘭市立桜蘭中学校の2年生が本学を訪問	18
室蘭市立星蘭中学校の3年生が本学を訪問	19
国立大学法人等情報化発表会で本学職員が発表	20
経営協議会学外委員による施設見学を実施	21

## ◇ 外部資金 ◇

民間等との共同研究の受入れ	22
奨学寄附金の受入れ	23

## ◇ 人 事 ◇

人事異動	24
------	----

## ◇ 会 議 ◇

学内各種委員会等の開催	25
-------------	----

## ◇ 日 誌 ◇

学内行事・学外行事	26
-----------	----

## ◇ 人物図鑑 ◇

室蘭工業大学人物図鑑 part.37～38	27
-----------------------	----



## 室蘭工業大学が参画する「次世代型宇宙港」 ワーキンググループが報告会を開催

### － 高頻度な宇宙輸送を支える拠点としての宇宙港のコンセプト等を発表 －

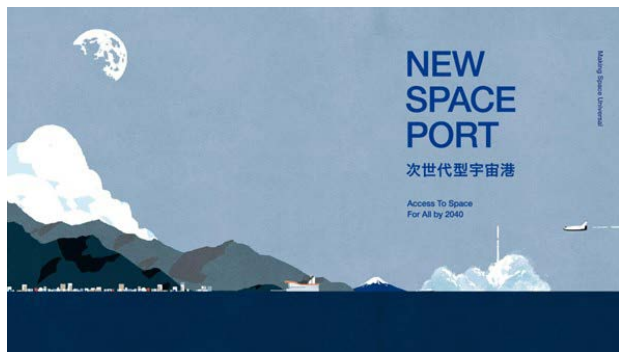
国立大学法人室蘭工業大学（北海道室蘭市）は、将来宇宙輸送システム株式会社（ISC）が主催する「次世代型宇宙港（NSP：New Space Port）」ワーキンググループ（以下 NSP-WG）に参画し、アジア最大級の宇宙ビジネスイベント「NIHONBASHI SPACE WEEK 2025」内にて開催された報告会にて、1年間の検討成果を発表しました。

NSP-WGは、令和7年8月に18社・1大学によって発足し、計22回の議論を重ねながら、2040年代の高頻度宇宙輸送を支える「次世代型宇宙港」のあり方を、陸上・洋上の両側面から多角的に検討してきました。

参考プレスリリース》令和6年8月配信

17社・1大学とともに「次世代型宇宙港」ワーキンググループを開始

※令和6年8月のプレスリリース配信時以降、1社追加となり、現在は18社・1大学となっております。



#### 《陸上と洋上を結ぶ「次世代型宇宙港」構想》

ISCが目指す「完全再使用型単段式宇宙往還機（SSTO）」の実現には、打上げ・着陸だけでなく、整備・燃料供給・搭乗といった一連の運用を支える複合拠点が不可欠です。NSP-WGでは、その主要構成要素として次の3拠点を設定しました。

1. 陸上拠点：ロケット整備・燃料運用設備、乗客ターミナルなどを備えた地上施設
2. 洋上発射拠点：ロケットの安全性と運用効率を高める洋上発射船
3. 洋上滞在拠点：搭乗直前までの滞在・セキュリティ

#### を担う洋上施設

さらに、これらを宇宙輸送のためだけでなく、観光・教育・研究・産業連携の拠点としても機能する「多機能複合型宇宙港」として検討を進めています。室蘭工業大学（内海研究室）は、WG全体のアドバイザーとして参画し、ロケット推進システム工学および宇宙輸送インフラ研究の観点から、各分科会の検討成果に対する技術的レビューや、構想全体の技術的整合性に関する専門的助言を行いました。

#### 《「次世代型宇宙港」の模型展示と検討成果の発表》

会場では、これまでの検討成果を基に制作した1/2300スケールの宇宙港模（1100mm×1000mm）を開示しました。

模型では、

- ・宿泊・教育・商業機能を備えた陸上複合エリア
- ・洋上発射船・滞在船
- ・再使用型ロケット運用を支えるエネルギー供給施設など、将来の宇宙インフラを構成する主要施設が立体的に表現されています。

報告会では、

- ・宇宙輸送の将来展望
  - ・国内外宇宙港の現状分析
  - ・NSPが描くビジネスモデル案
  - ・実現に向けた諸課題
- などが発表されました。







<参加企業：15社・1大学> ※五十音順

1. エア・ウォーター株式会社
2. ENEOS Power株式会社
3. 株式会社荏原製作所
4. 鹿島建設株式会社
5. 株式会社商船三井
6. JFEエンジニアリング 株式会社
7. 常石ソリューションズ東京ベイ株式会社

8. 日本無線株式会社
  9. 日本郵船株式会社
  10. 能美防災株式会社
  11. パシフィックコンサルタンツ株式会社
  12. 三井住友建設株式会社
  13. 三井不動産株式会社
  14. 三菱HCキャピタル株式会社
  15. 三菱倉庫株式会社
  16. 国立大学法人室蘭工業大学 内海研究室
- <主催企業：1社>
17. 将来宇宙輸送システム株式会社
- <事務局企業：2社>
18. ASTRO GATE株式会社
  19. 株式会社日本総合研究所

### 《今後の展開：発展的なWGの設置へ》

NSP-WGでは、今回の発表内容をさらに発展させるため、来年度の開始を目標に新たなワーキンググループの立ち上げを検討しています。

内容は、

- ・陸上・洋上施設のさらなる詳細設計
- ・実証プロジェクトの準備
- ・収益創出や資金循環を含む宇宙インフラのビジネスモデル構築

などへ発展させる予定です。

### 《一般社団法人スペースポートジャパン 代表理事 兼 元JAXA宇宙飛行士 山崎直子氏コメント》

次世代型宇宙港ワーキンググループ（NSP-WG）の皆様、活動報告会の開催誠にありがとうございます。2024年8月のNSP-WGの発足からこれまでの間、関係者の皆様がそれぞれの立場から熱意をもって議論を重ね、次世代型宇宙港の具体的なビジョンを形にしてこられたことに、心から敬意を表します。

今回の報告により構想が着実に前進しつつあること、また様々な主体の知見や情熱が結集していることを改めて感じました。

宇宙港は、ロケット発射のインフラにとどまらず、地域創生、産業振興、そして国際連携の拠点としても大きな可能性を秘めています。この取り組みが、わが国の宇宙活動の新たな扉を開くものとなることを、心より期待しております。

私たちスペースポートジャパンとしても、引き続き皆様と協力しながら、実現に向けた環境整備や社会的理解の促進に尽力してまいります。

報告会で発表された成果が、次なるアクションへの確

トピックス

かな礎となり、ここから未来の宇宙港が具体的に形づくられていくことを願っております。

**《室蘭工業大室蘭工業大学 航空宇宙機システム研究  
センター長・教授 内海 政春氏コメント》**

室蘭工業大学は、北海道のものづくり基盤と大学の研究力を生かし、今後も「地域 × 宇宙 × 産学官連携」による新たな宇宙港モデルの構築に取り組んでまいります。

室蘭工業大学 航空宇宙機システム研究センター長・  
教授 内海 政春

**内容に関するお問い合わせ**

室蘭工業大学 航空宇宙機システム研究センター長・  
教授 内海 政春

TEL：0143-46-5335

E-mail：uchiumi@muroran-it.ac.jp

– 5 –

## 室蘭工業大学・札幌医科大学による 「デジタル医工連携セミナー」を開催

令和7年10月24日(金)に、本学本部棟3階大会議室において、室蘭工業大学、札幌医科大学による「デジタル医工連携セミナー」を開催し、約100名（オンライン含む）が参加しました。

このセミナーは、室蘭工業大学と札幌医科大学との包

括連携協定に基づき、両大学の教育研究に係る教職員及び研究者の交流の一環として毎年開催しています。今回で第4回目の開催となる本セミナーは、シンポジスト等による講演と質疑が行われ、盛況のうちに終了しました。

次回は札幌医科大学での開催を予定しています。



本学 松田学長による開会の挨拶



司会進行する本学 佐藤理事（左）と札幌医科大学 本望氏（右）



講演する札幌医科大学 森田氏



講演する本学 李准教授





講演する札幌医科大学 石埜氏



講演する本学 増田理事



講演する札幌医科大学 高野氏



札幌医科大学 山下理事長による閉会の挨拶



集合写真

## 室蘭工業大学広報誌「蘭岳（RANGAKU）」 -No.152-を発行

室蘭工業大学広報誌「蘭岳」（年2回発行）No.152号を発行いたしました。

蘭岳は、昭和44年3月30日に記念すべき第1号が刊行され、学生、同窓生、市民、教職員など幅広い皆様に、

室工大の今を伝えてきました。

これからも室蘭工業大学が学生、同窓生、市民の皆様などにとって、「室工大の今をより親しみやすく、理工学を身近に感じられる広報誌」を目指していきます。



### ～目次～

#### （特集）[Seeds+Needs](#)

確かな診立て、生成。画像認識・解析技術を活用した医師業務支援のはなし

#### （グラビア）[蘭ガク百景](#)

#### （インタビュー by室工大生）[大先輩は、なぜ、そこに？](#)

室工大OB 鈴木丈大氏（スズキ株式会社）×室工大生パーカーさん

#### （研究紹介）[RANGAKU Congress](#)

圧力下・低温下で起こる電子の「振る舞い」をヒントに物質の性質の変化や、結晶の構造を解き明かす

#### （オリジナルグッズ紹介）[室工大アイテムコレクション](#)

室蘭工大鉄塩キャラメルラテ/主婦のアイデアが生んだ、鉄のまちの一杯。

#### （学内ニュース）[ムロびょんTOPICS](#)

#### （サークル紹介）[2/76 GRAFFITI](#)

アカベラサークルGleeGround/セパタクロー部

#### （インフォメーション）[室蘭工業大学「珍事件」](#)

#### （大学周辺スポット紹介）[とりあえず行くべ、中島町！](#)

### 読者の皆様へ アンケートご協力をお願い

今後の誌面づくりに活用させていただくため、蘭岳（RANGAKU）の読者アンケートを実施しています。アンケートにご協力いただいた方には抽選で合計30名様に「室蘭工業大学オリジナルグッズ」をプレゼントいたします。是非、ご協力ください。

以下のリンクから、アンケート回答用のページにアクセスして行ってください。

[蘭岳に関するアンケート回答フォーム](#)（外部サイトに移動します）

感想を送って、大学オリジナルグッズをもらおう！

## WEBアンケートにご協力ください

ご回答いただいた方の中から、  
抽選で30名様にオリジナルグッズをプレゼント！  
アンケートは、今後の誌面づくりに活用させていただきます。  
ぜひご協力ください。

**回答締切 令和7年12月31日(水)**

※プレゼントご希望の方は、アンケート回答時に  
メールアドレスのご入力が必要となります。

あなたと室蘭をつなぐギフトセット

**鉄塩「FCルル」& TENTO GIFT TICKET (500円分) セット**

**10名様**

**500**

手のひらサイズで「ぬいぐり」に最適♪

**ムロびょんぬいぐるみ**

**20名様**

# PRESENT

《同窓生の皆様へ》

同窓生の皆様には、平素より本学の広報活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

本学広報誌「蘭岳」は年2回（9月、3月）発行しており、例年その都度送付させていただいておりましたが、

今年度につきましては、来年4月発行の同窓会誌「モ・ルラン 第69号」を送付の際に、今号「蘭岳」No.152号と次号No.153号を同封して送付させていただきます。楽しみにして下さっていた皆様にはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

## 第53回蘭岳コンサートを開催

令和7年10月25日(土)に大学会館多目的ホールにおいて、第53回蘭岳コンサートを開催し、市民、教職員及び学生129名が参加しました。

今回は、ピアニストの高石拓実さんをお招きし、ピアノソロリサイタルを開催しました。

参加者は、演奏者の迫力のある高度な演奏技術に魅了され、「今までの蘭岳コンサートの中で一番感動した。」、「ダイナミックな演奏で迫力があった。」、「あつという間

の素敵な時間でした。」などの感想が寄せられました。次回は、令和8年度に開催予定です。

なお、今回のコンサートにおいて、「令和7年台風第15号災害静岡県義援金（静岡県）」をお願いした結果、皆様から寄せられた義援金は23,671円となりました。ご協力いただきました皆様に厚くお礼を申し上げますとともに、ご報告を申し上げます。



高石拓実さんによる演奏



集合写真



## 佐藤理事・副学長が道民向けセミナー 「次世代半導体とほっかいどうの未来 in 室蘭」に登壇

令和7年10月23日(木)に本学本部棟大会議室において、道民向けセミナー「次世代半導体とほっかいどうの未来 in 室蘭」(主催：北海道経済部AI・DX推進局 次世代半導体戦略室)が開催され、一般の方や本学関係者含む約130名(オンライン含む)が参加しました。

本セミナーはRapidus株式会社による次世代半導体のプロジェクトをはじめ、半導体が私たちの暮らしや未来をどのように変えていくのかについて、道民の皆様の理解を深めていただくための機会を提供する市民向けのセミナーです。

最初に、本学の佐藤孝紀理事・副学長より「半導体が導く、我々の未来」と題して、半導体の基礎知識やSociety 5.0についての基礎的な解説を行いました。

また、AIや高度情報処理システムを活用した本学での研究紹介や本学の半導体関連の教育への取組を紹介し「半導体による高度情報化社会の進展」に向けて、専門分野だけでなく、数理・データサイエンス・AIといった情報系の素養を持つ「足腰の強い高度理工系人材」の育成に力を入れていくと語りました。

続いて、一般社団法人 情報社会デザイン協会 理事の須永順子氏より「半導体がもたらす明るい未来」と題した講演が行われました。

最後にパナソニックITS株式会社 室蘭開発室 室長の佐藤慎吾氏より「地方創生の取り組み、室蘭MaaS紹介」と題した講演が行われました。



佐藤孝紀理事・副学長の講演



情報社会デザイン協会 須永順子氏の講演



パナソニックITS株式会社 佐藤慎吾氏の講演



ほぼ満員となった会場の様子

## 李鶴准教授が国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の「官民による若手研究者発掘支援事業（若サポ）」に採択

室蘭工業大学大学院工学研究科 李鶴准教授が研究代表者として提案した研究開発テーマ「セマンティック通信による低コスト広域AIoTシステムの構築」が国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の「官民による若手研究者発掘支援事業（略称：若サポ）※1」のマッチングサポートフェーズに採択されました（採択率26.7%）。本事業の助成期間は令和7年10月から令和9年9月までです。（令和7年8月28日公表）

参考URL：

[https://www.nedo.go.jp/koubo/SM3\\_100001\\_00085.html](https://www.nedo.go.jp/koubo/SM3_100001_00085.html)

本研究開発では、AIによるセマンティック圧縮と

920MHz帯 LPWA通信を組み合わせることで、画像やハイパースペクトルデータを1/100～1/1000まで大幅に圧縮しつつ、高い再現性を保ったデータ伝送を実現します。これにより、電力や通信環境に制約がある地域においても高度なAI解析を可能とし、農業支援、獣害対策、防災DXなどの社会課題解決への応用展開を目指します。

※1 若サポ：産業応用を目指す技術シーズを有する45歳未満の若手研究者に対して、企業との共同研究への展開を支援する事業です。

参考URL：

[https://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP\\_100166.html](https://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP_100166.html)

## 令和7年度合同業界研究会を開催

令和7年度合同業界研究会について、令和7年10月25日(土)・26日(日)に第1弾及び11月8日(土)・9日(日)に第2弾を開催しました。

本イベントは、就職を志望する学生が、各企業・業界の状況やインターンシップの重要性等について企業の担当者から直接説明を受け、企業・業界研究を通じて自らの目指す業種や職種を考え、今後の就職活動に資するこ

とを目的として実施しています。

今回は、学生の就職活動の動向等に基づき、10月及び11月に対面・ブース形式で2回開催し、企業等400機関、学生延べ約3,029名（実参加学生数448名）が参加しました。

参加した学生は、それぞれのブースで採用担当者から説明を受け、熱心に耳を傾けていました。



会場の様子①



会場の様子②

## QSアジア大学ランキング2026で741-750位にランクイン

イギリスのQS社から、2025年11月4日にQSアジア大学ランキングが発表され、室蘭工業大学は741-750位にランクインしました。

<https://www.topuniversities.com/asia-university-rankings>

QSアジア大学ランキングは日本、中国、インド、韓国、シンガポールなどのアジア圏の大学のうち、1529大学がランクインし、日本からは147大学がランクインしています。

特に道内では、北海道大学に次いで、本学がランクインしています。

QSアジア大学ランキングは、英国の高等教育専門調査会社（QS Quacquarelli Symonds Limited）が毎年発表しており、世界的な認知度、研究能力、教育資源、国際化などを評価しているランキングとなっています。また、第三者評価が大きな割合を占め、大学のブランド力、イメージが影響する世界で最も参考にされている世界大学ランキングの一つです。

室蘭工業大学は『真なる探究心から未来の価値づくりを。』をキャッチコピーとして、延べ40,000人余の同窓生の活躍を実績として教育改革を進め、地域にそして世界に貢献できる理工系学生の育成に邁進します。





## 董冕雄副学長（しくみ解明系領域・教授）が Highly Cited Researchers 2025に選出

令和7年11月12日、Clarivate社（クラリベイト社）が高被引用論文著者（Highly Cited Researchers）2025年版を公表し、コンピュータ科学分野から董冕雄副学長（しくみ解明系領域・教授）が選出されました。

Highly Cited Researchersは、過去10年間の各年および研究分野において被引用数上位1%に準ずる論文を複

数発表された研究者を対象として選出しており、非常に卓越した業績を持った研究者のみが選出されます。今回は、世界全体で6,868人の研究者が選出され、うち日本の研究機関を第一所属とする研究者は88人でした。

詳細につきましては、下記URLをご確認ください。

[Highly Cited Researchers – Clarivate](#)



## 永年勤続者表彰式を挙行

勤労感謝の日にあたり、本学の職員又は他機関の教育関係業務に永年従事された被表彰者に対して、11月20日（木）に本部棟中会議室において令和7年度室蘭工業大学永年勤続者表彰式が執り行われました。

表彰式では、学長から今年度の被表彰者に表彰状と記念品が授与されました。その後の挨拶で学長は、永年にわたる本学への発展・充実の労に対して深い敬意と感謝の意を表し、これからのさらなる活躍を願われました。

次いで、被表彰者を代表し、しくみ解明系領域のCHANG Young-Cheol教授が、教員としての活動を振り返り、謝辞を述べられました。

また、式終了後は記念撮影が行われ、出席者は和やかなひとときを過ごしなが、表彰を祝いました。

### ～室蘭工業大学永年勤続者表彰被表彰者～

しくみ解明系領域	CHANG Young-Cheol
しくみ解明系領域	亀川 厚則
もの創造系領域	永井 宏
もの創造系領域	武田 圭生
しくみ解明系領域	倉重 健太郎
ひと文化系領域	GAYNOR Brian,Nollaig
しくみ解明系領域	本藤 克啓
入試戦略課国際交流室	永利 卓



表彰式の様子



謝辞を述べるCHANG Young-Cheol教授



学長とともに記念撮影

## 第19回 EMIR勉強会で本学職員が話題提供

令和7年9月12日(金)、大正大学にて開催された「第19回 EMIR勉強会」に、室蘭工業大学から経営企画課経営企画係の田嶋係長と、評価分析係の白川部係長の2名が参加し、話題提供しました。

本勉強会は、一般社団法人 大学IRコンソーシアムの主催により開催され、中央教育審議会による2025年2月の答申「我が国の『知の総和』向上の未来像～高等教育システムの再構築～」を背景に、IR (Institutional Research) の果たすべき役割について議論が交わされ

ました。

本学からは、田嶋係長が「生成AI活用促進とGOOD ACTIONシェアリング」、白川部係長が「IR基盤整備とIR担当者による研修内製化」をテーマに発表を行いました。発表後の情報交換会では、参加者間で活発な意見交換が行われ、大変有意義な時間となりました。

今後も本学では、IR活動を通じて教育の質向上と大学運営の高度化に貢献してまいります。



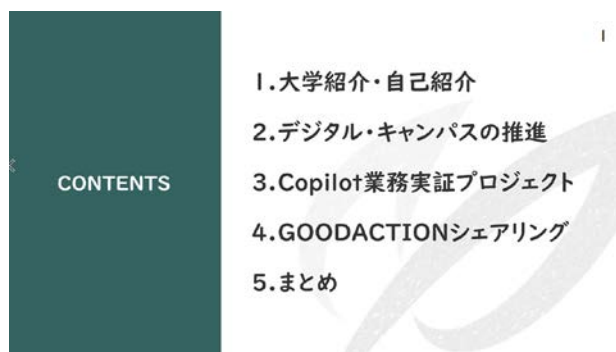
発表する白川部係長



質問に答える田嶋係長



白川部係長発表資料のアジェンダ



田嶋係長発表資料のアジェンダ



## 室蘭市立桜蘭中学校の2年生が本学を訪問

令和7年11月7日(金)に室蘭市立桜蘭中学校の2年生の生徒3名と引率教員1名が、「職場体験学習」の一環で本学を訪れました。

一行は、本学航空宇宙機システム研究センターを見学したのち、希土類材料研究センターの関根ちひろ教授か

ら、大学教員としての仕事における心がけなどの説明を受けました。さらに簡単な実験を行い、その結果を実験ノートに記録するという、研究活動の一部を体験しました。生徒の皆様は終始、熱心に説明を聞いていました。



関根教授の説明を受ける様子



航空宇宙機システム研究センター見学の様子



## 室蘭市立星蘭中学校の3年生が本学を訪問

令和7年11月11日(火)に、室蘭市立星蘭中学校の3年生の生徒36名と引率教員3名が「令和7年度室蘭ふるさと学習」の一環として本学を訪れました。

一行は、教育・研究1号館C棟講義室において、希土

類材料研究センターによる「圧力をかけて室温で氷を作る実験」と「ペルチェ素子の通電実験」を体験しました。生徒の皆様からは時折、驚きの声があがり、終始、熱心に実験に取り組んでいました。



武田准教授による圧力をかけて室温で氷を作る実験の様子



関根教授によるペルチェ素子の通電実験の様子

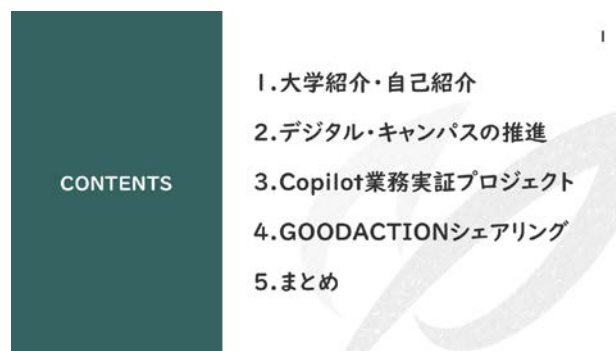
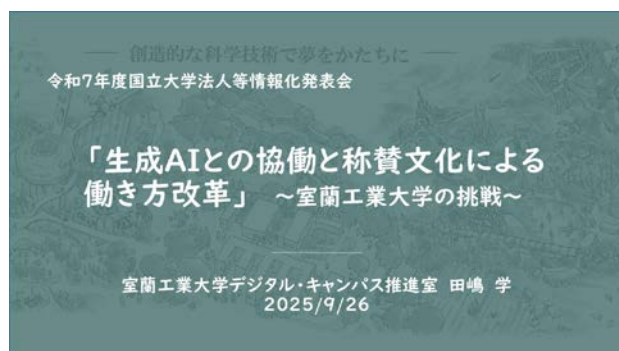
## 国立大学法人等情報化発表会で本学職員が発表

令和7年9月26日(金)に、オンライン形式で令和7年度国立大学法人等情報化発表会が開催され、室蘭工業大学デジタル・キャンパス推進室の田嶋室員が「生成AIとの協働と称賛文化による働き方改革～室蘭工業大学の挑戦～」と題して発表を行いました。

本発表は、国立大学法人等における情報化の取り組みを共有し、情報交換を通じてさらなる情報化推進を図ることを目的として実施されたもので、主催は国立大学法人等情報化連絡協議会です。

当日は、室蘭工業大学におけるMicrosoft365Copilotの業務実証プロジェクトや業務改善事例、職員による事例共有イベント「GOOD ACTION シェアリング」の紹介を通じて、生成AIを活用した新しい働き方の可能性と称賛文化による組織活性化の意義を強調しました。

今後も本学では、生成AIの活用をはじめとしたデジタル・キャンパス化の推進に積極的に取り組んでまいります。



講演スライドの一部

## 経営協議会学外委員による施設見学を実施

令和7年11月26日(水)、室蘭工業大学の教育研究活動について理解を深めていただくため、経営協議会学外委員（学外有識者）を対象に学内施設見学を実施しました。

学内施設見学に先立ち、本部棟中会議室において、しくみ解明系領域 馬渡康輝准教授から「カーボンでポジティブにカーボンでポジティブにC<sup>+</sup>な分子材料開発」と題して、クリエイティブコラボレーションセンターカーボンポジティブラボで取り組んでいる色彩可変材料及び温度応答材料としての炭素の活用について研究紹介が行われました。引き続き、教育・研究12号館（X棟）に移動し、馬渡准教授の研究設備を見学しました。学外委員から寄せられた質問に馬渡准教授が回答するなど、活発な意見交換がなされ、参加した委員からは、研究の進展に期待の声が寄せられました。

室蘭工業大学経営協議会では、テーマを設定して学外委員から大学運営に関するご意見をいただく懇談の時間を設けており、学外委員に大学の教育研究環境をご覧いただいたことで、今後、経営協議会における議論がますます深まることが期待されます。

出席された学外委員は次のとおりです。

上田 奏委員（日本製鋼所M&E株式会社  
代表取締役社長）

浦田秀行委員（北海道経済産業局長）

鈴木恵二委員（公立大学法人公立はこだて未来大学  
理事長・学長）

高宮則夫委員（室蘭工業大学同窓会会長）

中村栄作委員（学校法人北海道科学大学監事）



研究紹介する馬渡准教授



教育・研究10号館（X棟）に移動して研究紹介する馬渡准教授



研究設備の説明を受ける委員



質疑の様子

## 外部資金

## 民間等との共同研究の受入れ

研究代表者・職・氏名	相手方区分	金 額(千円)
もの創造系領域 教 授 内 海 政 春	大 企 業	9,100
もの創造系領域 教 授 廣 田 光 智	大 企 業	2,500
もの創造系領域 准教授 立 山 耕 平	中 小 企 業	1,040
しくみ解明系領域 教 授 渡 邊 真 也	大 企 業	1,500
合 計 (4 件)		14,140

※大企業・中小企業の別は、中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条による。



## 奨学寄附金の受入れ

寄 附 者	目 的	金 額(千円)
株式会社ドーコン	工 学 研 究 助 成	300
室蘭工業大学MONOづくりみらい共創機構研究協力会	研 究 及 び 助 成 事 業 の た め	3,000
株式会社ドーコン	工 学 研 究 助 成	1,000
株式会社複合技術研究所	工 学 研 究 助 成	500
一般財団法人むろしん緑の基金	工 学 研 究 助 成	500
個人寄附者（1件）	工 学 研 究 助 成	300
株式会社日水コン	工 学 教 育 助 成	150
合 計（7件）		5,750

人 事

人 事 異 動

国立大学法人  
室蘭工業大学長発令

発令年月日	異 動 内 容	氏 名	現 職
令和 7 年11月30日	〈雇用期間満了〉	市 川 真菜美	大学院工学研究科 事務補佐員
令和 7 年11月17日	〈採 用〉 大学院工学研究科 事務補佐員	松 井 奈生子	

## 学内会議

### 学内各種委員会等の開催

<10月25日～11月24日>

**開催日時** 令和7年10月28日(火)

**会議名** 第10回企画戦略会議

**開催日時** 令和7年11月11日(火)

**会議名** 第15回役員会

**開催日時** 令和7年11月13日(木)

**会議名** 第7回教育研究評議会

**開催日時** 令和7年11月13日(木)

**会議名** 大学院工学研究科博士後期課程専攻長会(臨時)

**開催日時** 令和7年11月13日(木)

**会議名** 教授会(臨時)

**開催日時** 令和7年11月18日(火)

**会議名** 第11回企画戦略会議

## 学内行事

- 10月25日(土) 第53回 蘭岳コンサート
- 10月25日(土) 令和7年度室蘭工業大学合同業界研究会・第1弾(道内企業)
- 10月26日(日) 令和7年度室蘭工業大学合同業界研究会・第1弾(道外企業)
- 11月1日(土) 令和8年度編入学一般入試(第2次募集)
- 11月4日(火) 合格発表【令和8年度特別選抜(総合型選抜Ⅰ・Ⅱ・夜間主、社会人選抜)】
- 11月4日(火) 辞令交付
- 11月8日(土) 令和7年度室蘭工業大学合同業界研究会・第2弾(道内企業)
- 11月9日(日) 令和7年度室蘭工業大学合同業界研究会・第2弾(道外企業)

## 学外行事

- 11月6日(木) ビジネスEXPO「第39回北海道技術・ビジネス交流会」(7日まで)(札幌市)
- 11月7日(金) 令和7年度国立大学協会通常総会(8日まで)(旭川市)



# 室蘭工業大学 人物図鑑

室蘭工業大学に所属する教員・職員に  
専門分野、業務内容、室工大の  
Good Pointなどを聞いてみました。

- ①専門・業務内容
- ②室工大のGood Point
- ③室工大で好きなspot



Part  
37

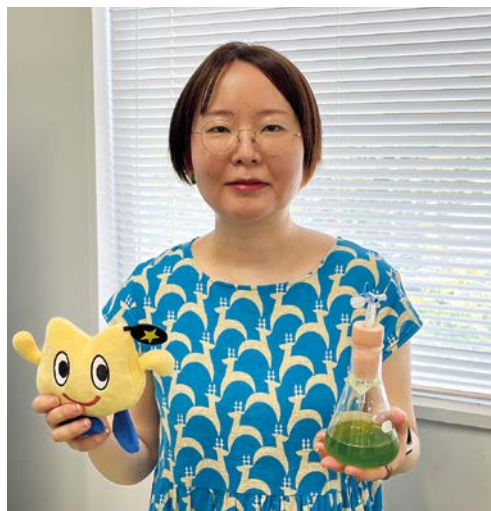
教授・医師 三矢 恵理



- ①医学、保健管理センター業務（学校医、産業医）
- ②図書館（プレゼンテーションスペース、サイレントスペースなど用途に合わせて選べて素敵。何といっても2階女子トイレにパウダールーム付き!）
- ③TENTOと保健管理センターの間の大きな木

Part  
38

助教 鹿毛 あずさ



- ①重力生物学・生物物理学（単細胞生物が重力に応答するしくみとその意義の解明）
- ②気候が過ごしやすい。規模が小さいので、他分野の先生とも連携しやすい。
- ③TENTO（学内にかき氷やクリームソーダがあります。ホットサンドも美味しい!）

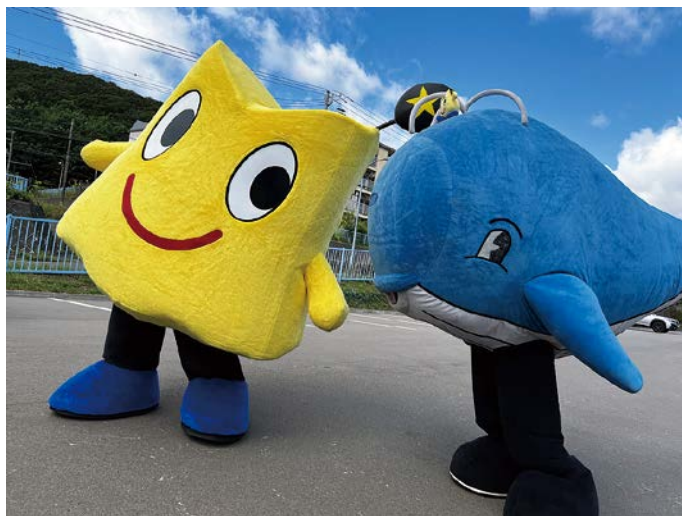
## 編集後記

◆ 令和7年も残りわずか、皆様にとってどのような1年でしたか。

室蘭工業大学は「真なる探究心から未来の価値づくりを。」というスローガンのもと、「北海道と共に、次世代の研究、価値づくり」に貢献するという使命があります。その過程、結果、成果、準備などを皆様にお伝えすること、そして、皆様と双方向のコミュニケーションを行い、室工大のファンを増やし、室工大をバージョンアップすることが広報部隊の大事なミッションのひとつです。

令和8年は、さらに親しみやすく、皆様にとって身近な学報（その他の広報物も）を目指すべくリニューアルを進め、室工大の「今」をもっと魅力的に、もっとわかりやすく伝えていきたいと思っています。

広報部隊も真なる探究心で、未来の価値づくりに向けて歩み続けます。引き続きご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。どうぞ良いお年をお迎えください。



ムロびょんは飛躍の一年でした。

（Garoon：総務広報課秘書広報係、E-mail：koho@muroran-it.ac.jp）

（総務広報課秘書広報係）



室蘭工業大学のキャラクター「ムロびょん」

### ■編集発行

室蘭工業大学総務広報課  
〒050-8585 室蘭市水元町27番1号 電話 0143-46-5008

### ■印刷所

株式会社日光印刷  
電話 0143-47-8308